A＋	目標達成率100%以上
A	目標達成率60%以上100%未満
A－	目標達成率60%未満
B	取り組み開始時と比較し数値の改善、維持や状況の改善ができなかった
＊	目標を持つことが不適切

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ）							目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値						進捗状況（評価Ｃ）H32目標とH28の実績と比べて評価。右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ）A+, A A-, B	対策（改善Ａ）評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ）H29年度の取り組み
				指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定			設定の根拠	実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力									
							H32	H37	H42		H26	H27	H28	H29	H30	H31				
1	4 1)①	幼	健 健 健	パパママ教室参加率	4	★妊産婦支援	%/年 13.6	%/年 14.6	%/年 15.6	子ども・子育て支援計画施策より	%/年 12.6	%/年 12.6 14.3	%/年 12.8 18.2	%/年 13.0	%/年 13.2	%/年 13.4	昨年度より参加割合が増加し、H32目標を超える値となった。	A＋	継続実施	継続実施
2	4 1)②	幼	健 健 健	母子健康手帳交付数	4	★妊産婦支援	人/年 240	人/年 256	人/年 288	香南市人口ビジョン・人口将来展望より	人/年 242	人/年 226 230	人/年 229 237	人/年 231	人/年 234	人/年 237	交付数は若干増加した。	A＋	母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。	母子保健コーディネーターが主体となって、母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。
3	4 2)①	幼	健 健 健	乳児家庭訪問回数	6	★乳児訪問	%/年 100	%/年 100	%/年 100	子ども・子育て支援計画、人口将来展望より	%/年 133	%/年 100 128	%/年 100 155	%/年 100	%/年 100	%/年 100	訪問回数も増加し、実数で生後4ヶ月までの乳児の99.2%へ訪問している。	A＋	できるだけ生後1ヶ月までに、遅くても生後4ヶ月までに訪問を実施。	できるだけ生後1ヶ月までに、遅くても生後4ヶ月までに訪問を実施。
4	4 2)②	幼	健 健 健	育児相談利用者数(延)	7	★育児相談・母乳相談・離乳食講習会	人/年 278	人/年 296	人/年 333	子ども・子育て支援計画、人口将来展望より	人/年 269	人/年 263 288	人/年 266 292	人/年 269	人/年 272	人/年 275	H32年度目標を上回って来所者が若干増加。	A＋	継続実施	継続実施
5	4 2)③	幼	こ こ こ	育児教育相談利用者数(延)	20	★子育て支援	人/年 562	人/年 565	人/年 570	人口ビジョンにより	人/年 561	人/年 562 697	人/年 562 520	人/年 562	人/年 562	人/年 562	相談内容に応じて対応する機関が分散した。	A－	昨年度に引き続き教育相談、ほのぼの相談、子育て支援センターでの相談を継続する。	昨年度に引き続き教育相談、ほのぼの相談、子育て支援センターでの相談を継続する。
6	4 2)④	幼	福 福・市 福・市	一人親家庭へのサポート対象者数	11～14	★ひとり親家庭へのサポート	人/年 4	人/年 4	人/年 4	母子家庭自立支援給付実績5年間	人/年 3	人/年 4 3	人/年 4 3	人/年 4	人/年 4	人/年 4	H27からの給付継続。H32への目標に対しては、概ねH28の実績値で推移していくものと思われる	A	この支援事業に関しては、本人の家庭における経済状況等により申請を受けるものであり、制度として啓発、広報を推進していく。	窓口及び広報紙での周知活動に取り組む。
7	5 3)①	幼	こ こ こ	地域子育て支援センター利用者数	20	★子育て支援	人/年 7,000	人/年 7,200	人/年 7,600	H32は香南市子ども支援計画、それ以降は人口ビジョンより	人/年 4,010	人/年 4,600 4,811	人/年 5,200 4,542	人/年 5,800	人/年 6,400	人/年 7,000	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。	A	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。H31年度支援センター統合に向け事業の充実を図る	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。H31年度支援センター統合に向け設計協議を進める
8	5 3)②	幼	福 福 福	ショートステイ施設数	1	★子ども一時預かり	件/年 5	件/年 6	件/年 7	県内で契約できる施設数(7施設)	件/年 3	件/年 5 3	件/年 5 3	件/年 5	件/年 5	件/年 5	一時預かりの実績からすれば、H32の目標に対して妥当な契約数である。	A	一時預かりの実績を勘案しながら契約件数を増やす。	同左
9	5 3)③	幼	こ こ こ	保育所の一時預かり数(延)	15	★子ども一時預かり数(延)	人/年 838	人/年 863	人/年 913	人口ビジョンより	人/年 826	人/年 838 1,001	人/年 838 977	人/年 838	人/年 838	人/年 838	利用希望者は多くなってきている。申請や予約方法について実施園で統一した、	A	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。	ニーズが増加しているので受け入れ体制を整えていく。
10	5 3)④	幼	こ こ こ	市のホームページ（子育て情報サイト）のアクセス回数	20	★子育て支援	回/年 6,000	回/年 6,000	回/年 6,000	H28から実施	回/年 —	回/年 — —	回/年 3,000 1,826	回/年 4,000	回/年 5,000	回/年 6,000	想定より利用者が伸びなかった。	A－	多くの場面で今まで以上に啓発活動に努める。	多くの場面で今まで以上に啓発活動に努めると供に、関連する部署と連携し内容の充実を図る。

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ） 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策 （改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策 （計画Ｐ） H29年度の取り組み
11	6 4)①	幼	こ こ・健 こ・健 こ・健	本の読み聞かせ回数	19	★本の読み聞かせ乳幼児検診	回/年 36	回/年 36	回/年 36	外部講師による活動のみ抽出	回/年 こども 健対 36	回/年 24 12 36	回/年 24 12 30	回/年 24 12	回/年 24 12	回/年 24 12	（健）目標どおり実施。健康対策課12回 （こ）保育所･幼稚園での活動は定着したので更に充実を図る。18回	A	（健）昨年度のとおり実施する。 （こ）各保育所･幼稚園の子どもの実態に沿った内容と若年保育者への支援などを考慮しながら充実を図る。	（健）昨年度のとおり実施する。 （こ）子どもの興味･関心に沿った選書や読み方など保育者の資質向上を目指す。
12	6 4)①	幼	生 生 生	本の読み聞かせ回数	19	★本の読み聞かせ	回/年 434	回/年 434	回/年 434	図書館及びボランティア	回/年 433	回/年 418	回/年 420 420	回/年 425	回/年 430	回/年 434	ほぼ目標に近づいている	A＋	読み聞かせボランティア集団の育成	紙芝居づくりを通じて機運の向上を図る
13	6 4)②	幼	健 健 健	朝食摂取割合（３歳児）	18	★食育の推進	%/年 98.0	%/年 98.0	%/年 98.0	食育推進計画	%/年 94.7	%/年 95.3	%/年 98.0 94.7	%/年 98.0	%/年 98.0	%/年 98.0	朝食摂取割合は若干減少	A	保育・幼稚園等と連携し食育事業を継続。	保育・幼稚園等と連携し食育事業を継続。乳幼児健診での指導継続。
14	6 4)③	幼	生 生 生	町民運動会参加団体数	24	★三世代交流イベント推進	団体/年 43	団体/年 48	団体/年 48		団体/年 37	団体/年 41	団体/年 41 40	団体/年 42	団体/年 42	団体/年 43	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う
15	6 5)①	幼	福 福 福	養護相談利用者数（延）	28	★障害児相談	人/年 40	人/年 40	人/年 40	相談利用者の推移平均	人/年 91	人/年 26	人/年 40 37	人/年 40	人/年 40	人/年 40	H32目標値に近い相談数であった。新規利用者の増や継続利用者の状況にもよるが、概ね40人/年程度の計画書作成相談数で推移するものと思われる。	A	新規の利用者が年々増加するようであれば、事業所との相談体制の拡充を検討。	窓口及び広報紙での周知活動に取り組む。
16	6 5)②	幼	市 市 市	ひとり親家庭医療費助成利用者数	13	★ひとり親家庭へのサポート	人/年 —	人/年 —	人/年 —	配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども（所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】）等に対して、医療費の一部負担金を助成する。	人/年 809	人/年 832	人/年 - 740	人/年 -	人/年 -	人/年 -		*		継続支援
17	6 5)③	幼	福 福 福	児童扶養手当受給者数	12	★ひとり親家庭へのサポート	人/年 —	人/年 —	人/年 —	継続事業	人/年 364	人/年 388	人/年 — 352	人/年 —	人/年 —	人/年 —	H27の実績値の9.3%減の受給者数である。正確な増減の推測は困難であるが、年度毎での少ない増減で推移すると思われる。	*	継続支援	継続支援
18	8 1)①	就	生 生 生	凧揚げ・地引網参加者数	11	★3世代交流イベント推進	人/年 1,200	人/年 1,200	人/年 1,200		人/年 1,177	人/年 1,132	人/年 1,150 1,073	人/年 1,200	人/年 1,200	人/年 1,200	ほぼ目標に近づいている	A	事業が天候に左右されるため、また、開催日、内容を検討することも必要。	学校行事等との兼ね合いを配慮し、引き続きＰＲをすすめる。
19	8 1)②	就	生 生 生	町民運動会参加団体数	11	★3世代交流イベント推進	団体/年 43	団体/年 48	団体/年 48		団体/年 37	団体/年 41	団体/年 41 40	団体/年 42	団体/年 42	団体/年 43	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う
20	8 1)③	就	生 生 生	スポーツ少年団の団体数	11	★スポーツの推進	団体/年 28	団体/年 30	団体/年 30		団体/年 26	団体/年 27	団体/年 26 26	団体/年 27	団体/年 28	団体/年 28	ほぼ目標に近づいている	A＋	団体が継続して活動できる環境作りを行う。	団体が継続して活動できる環境作りを行う。
21	8 1)④	就	生 生 生	スポーツ少年団の会員数	8	★スポーツの推進	人/年 630	人/年 650	人/年 650		人/年 598	人/年 597	人/年 580 543	人/年 600	人/年 610	人/年 620	ほぼ目標に近づいている	A	団体が継続して活動できる環境作りを行う。	団体が継続して活動できる環境作りを行う。

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ） 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策（改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ） H29年度の取り組み
22	8 1)⑤	就	生 生 生	夏休みこども教室の開催	8	★スポーツの推進 夏休み子ども教室	回/年 25	回/年 25	回/年 25		回/年 24	回/年 21	回/年 22 25	回/年 23	回/年 24	回/年 25	ほぼ目標に近づいている	A＋	人気のある教室の複数開催	人気のある教室の複数開催
23	8 1)⑥	就	福 福 福	地域支援者会議開催数	14	★地域こども見守り体制	回/年 6	回/年 9	回/年 12	地域支援者会議拡充設置による会議回数の増	回/年 3	回/年 3	回/年 6 3	回/年 6	回/年 6	回/年 6	達成度合いは、H32の目標を下回る結果となるが、H32に向かって段階的に拡充を図っていく。	A－	関係機関及び関係団体との協議により、出てきた課題の整理を行う。	抽出した課題毎に、関係する機関、団体との調整を図ると共に、内部体制の充実を検討していく。
24	8 2)①	就	こ こ こ	児童クラブの利用者数	1	★共働き夫婦のための子育て支援	人/年 385	人/年 385	人/年 385	香南市子ども・子育て支援計画	人/年 330	人/年 336	人/年 320 359	人/年 340	人/年 385	人/年 385	昨年度より若干減少し、H32目標に対し85%の達成率だった	A＋	佐古小学校・野市東小学校で増設による定員増を行う。またH29.5月から若杉児童クラブを再開している。	佐古小学校・野市東小学校で増設による定員増を行う。またH29.5月から若杉児童クラブを再開している。
25	9 3)①	就	福 福・学 福・学	養護相談利用者数（延）	21	★障害児相談	人/年 40	人/年 40	人/年 40	相談利用者の推移平均	人/年 91	人/年 26	人/年 40 37	人/年 40	人/年 40	人/年 40	H32目標値に近い相談数であった。新規利用者の増や継続利用者の状況にもよるが、概ね４０人/年程度の計画書作成相談数で推移するものと思われる。	A	新規の利用者が年々増加するようであれば、事業所との相談体制の拡充を検討。	窓口及び広報紙での周知活動に取り組む。
26	9 3)②	就	学 学 学	親子料理教室開催数	10	★食育の推進	回/年 1	回/年 1	回/年 1	各学校でも実施しており全体では年1回開催	回/年 1	回/年 1	回/年 1 1	回/年 1	回/年 1	回/年 1	12月3・4日の2日間参加者36名で実施した。参加者からは来年も実施してほしいとう声があった。	A＋	今年度も継続実施。	昨年同様2日間の日程で開催予定。
27	9 3)③	就	健 健 健	朝食摂取割合（小学生）	10	★食育の推進	%/年 96.0	%/年 96.0	%/年 96.0	食育推進計画	%/年 95.4	%/年 95.9	%/年 96.0 95.0	%/年 96.0	%/年 96.0	%/年 96.0	朝食摂取割合は若干減少したが、ほぼ横ばいで推移。	A	学年に応じた食育事業の継続。	学年に応じた食育事業の継続。
28	10 4)①	就	学 学 学	児童生徒の夢や役立ち意識の割合 小学校	28	★社会とのつながり意識を高める推進(全国学力学習状況調査)	%/年 70.0	%/年 72.0	%/年 75.0	小学６年が対象の調査	%/年 67.0	%/年 70.8	%/年 65.0 71.7	%/年 66.0	%/年 67.0	%/年 68.0	各校でのキャリア教育などの取組もあり、数値も高くなってきており、H32年の目標に達している。	A	意識の高まりが学校生活につなげられたり、児童の主体的な活動につなげられるよう取組を継続する。	キャリア教育の年間指導計画に沿った取組推進。
29	10 4)①	就	学 学 学	児童生徒の夢や役立ち意識の割合 中学校	28	★社会とのつながり意識を高める推進(全国学力学習状況調査)	%/年 55.0	%/年 60.0	%/年 65.0	中学３年が対象の調査	%/年 52.1	%/年 44.7	%/年 51.0 46.8	%/年 52.0	%/年 53.0	%/年 54.0	各学校では職場体験学習等を実施しているが、意識の高まりにつながっていない状況がある。	A	数値も若干高くなっており、取組については効果があり継続する。	職場体験や先輩の話を聞くなどの取組を継続する。平成29年度はこども議会を開催する。
30	10 4)②	就	学 学 学	学校支援地域本部設置数	14	★地域子ども見守り体制	延校数 12	延校数 12	延校数 12		延校数 4	延校数 4	延校数 4 5	延校数 5	延校数 6	延校数 7	地域の人材は活用されているが、学校支援地域本部事業の活用には進んでいない所もある。	A＋	学校支援地域本部事業が地域人材の活用をシステムとして機能できる学校は活用を推進する。	事業の活用できる学校は積極的に導入を進める。
31	10 5)①	就	人 学 福・人・	相談窓口利用者数	21～24	★相談窓口	人/年 —	人/年 —	人/年 —		人/年 2	人/年 2	人/年 — 4	人/年 —	人/年 —	人/年 —	例年1～2回程度の相談で推移するものと思われる。	＊	継続支援	継続支援
32	10 5)②	就	学 学 学	不登校児童生徒の発生率 （小学校）	25	★不登校と引きこもり児童の支援	%/年 0.50	%/年 0.40	%/年 —	高知県の発症率以下を目指す	%/年 1.33	%/年 1.51	%/年 — 0.95	%/年 —	%/年 —	%/年 —	H27より発生率は減少しており、学校内支援会議や未然防止の取組を積極的に進めている。	＊	SSWの活用や研修を通して職員のスキルを高め、相談や連携による取組を推進し、校内支援力の向上を図る。	県の事業を活用するとともに、SSW4人体制とし、SCの活用とあわせて学校・家庭・関係機関の連携強化を図るとともに未然防止のための取組を推進する。
33	10 5)②	就	学 学 学	不登校児童生徒の発生率 （中学校）	25	★不登校と引きこもり児童の支援	%/年 3.50	%/年 3.00	%/年 —	高知県の発症率以下を目指す	%/年 5.29	%/年 5.29	%/年 — 6.38	%/年 —	%/年 —	%/年 —	H27より発生率は増加しているが、一部では欠席日数が減少したり、森田村塾や学校の別室へつながったケースもある。	＊	SSWの活用や研修を通して職員のスキルを高め、相談や連携による取組を推進し、校内支援力の向上を図る。	県の事業を活用するとともに、SSW4人体制とし、SCの活用とあわせて学校・家庭・関係機関の連携強化を図るとともに未然防止のための取組を推進する。

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標(計画Ｐ) 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策（改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ） H29年度の取り組み
34	10 5)③	就	生 生 生	スポーツ大会開催数	8	★スポーツの推進	人/年 3	人/年 3	人/年 3	市長旗等大会	人/年 3	人/年 3	人/年 3	人/年 3	人/年 3	人/年 3	ほぼ目標に近づいている	A＋	中学校招待野球、少年サッカー大会、中学サッカー大会の３つとも開催できている	中学校招待野球、少年サッカー大会、中学サッカー大会の３つとも開催できている
35	10 5)③	就	生 生 生	スポーツ大会参加チーム数	8	★スポーツの推進	人/年 60	人/年 60	人/年 60	市長旗等大会	人/年 60	人/年 60	人/年 60	人/年 60	人/年 60	人/年 60	ほぼ目標に近づいている	A＋	募集枠一杯の参加チーム数を維持できている	募集枠一杯の参加チーム数を維持できている
36	10 5)④	就	市 市 市	ひとり親家庭医療費助成利用者数	4	★ひとり親家庭へのサポート	人/年 －	人/年 －	人/年 －	配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども（所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】）等に対して、医療費の一部負担金を助成する。	人/年 809	人/年 832	人/年 740	人/年	人/年	人/年		＊		継続支援
37	10 5)⑤	就	福 福 福	児童扶養手当受給者数	4	★一人親家庭へのサポート	人/年 －	人/年 －	人/年 －		人/年 364	人/年 388	人/年 352	人/年	人/年	人/年	H27の実績値の9.3%減の受給者数である。正確な増減の推測は困難であるが、年度毎での少ない増減で推移すると思われる。	＊	継続支援	継続支援
38	10 5)⑥	就	学 学 学	児童生徒の肥満傾向率 小学５年	8	★スポーツの推進	%/年 11.11	%/年 10.00	%/年 9.00	5年で１割減を目指す	%/年 12.34	%/年 12.54	%/年 10.74	%/年 12.0	%/年 11.8	%/年 11.5	目標に達しており、各学校で個別指導等を実施し取り組むことができている。	A	良い取組ができているので継続していく。	引き続き、食育と会わせた取組を継続する。
39	10 5)⑥	就	学 学 学	児童生徒の肥満傾向率 中学２年	8	★スポーツの推進	%/年 9.50	%/年 8.55	%/年 8.55	5年で１割減を目指す	%/年 10.55	%/年 8.19	%/年 8.46	%/年 9.5	%/年 9.5	%/年 9.5	目標値をクリアした。部活動の効果が大きいと考えられる。	A	全国平均並みを維持できるように取組を継続する。	引き続き、食育と合わせた取組を継続する。
40	12 1)①	成	健 健 健	健康診査受診者数	14～15	★健康診査・がん検診	人/年 115	人/年 126	人/年 139	健康増進計画より	人/年 105	人/年 143	人/年 135	人/年 110	人/年 110	人/年 110	H32年度目標数以上の受診者で推移している。	A＋	継続実施	継続実施
41	12 1)②	成	福 福 福	社会参加のための外出支援サービス利用者数	10	★香南市社会参加のための外出支援サービス	人/年 9	人/年 10	人/年 10	障害福祉計画見込み量参考	人/年 7	人/年 5	人/年 7	人/年 9	人/年 9	人/年 9	H32目標値を下回っているが、概ね目標値に近づいている。	A	利用者の要因によるものもあるが、利便性の向上を検討していく。	要綱改正で利用時間の拡充が図れたので、サービス利用について広報啓発に取り組んで行く。
42	12 2)①	成	地 地・生 地・生	出会いの場の開催回数	1	★男女の出会いの場の提供・支援(婚活の推進・支援)	回/年 3	回/年 3	回/年 3		回/年 －	回/年 －	回/年 3	回/年 3	回/年 3	回/年 3	結婚を望む独身男女を対象とした出会いの場の提供を予定回数実施することができた。	A＋	補助金の対応やセミナーを開催し、出会いの場の提供を実施していく。	補助金の補助対象事業の枠を拡大し、使い勝手の良い補助金として活用していただき、出会いの場の提供を推進していきたい。
43	12 2)①	成	地 地・生 地・生	参加人数	1	★男女の出会いの場の提供・支援(婚活の推進・支援)	人/年 60	人/年 60	人/年 60		人/年 －	人/年 －	人/年 57	人/年 60	人/年 60	人/年 60	参加者数はH32年度の目標に向け、順調である。	A	セミナーや出会いの場を引き続き提供し、目標数値を達成する。	結婚を望む独身男女に加え、その親などを対象としたセミナーなども検討している。
44	13 3)①	成	健 健 健	パパママ教室参加率	4	★妊産婦支援	%/年 13.6	%/年 14.6	%/年 15.6	子ども子育て支援計画	%/年 12.6	%/年 14.3	%/年 18.2	%/年 12.6	%/年 13.2	%/年 13.4	昨年度より参加割合が増加し、H32目標を超える値となった。	A＋	継続実施	継続実施
45	13 3)②	成	健 健 健	母子健康手帳交付数	4	★妊産婦支援	人/年 240	人/年 256	人/年 288	人口ビジョン・人口将来展望	人/年 242	人/年 230	人/年 237	人/年 226	人/年 229	人/年 231	交付数は若干増加した。	A＋	母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。	母子保健コーディネーターが主体となって、母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ） 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策（改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ） H29年度の取り組み
46	13 4)①	成	生 生 生	各教室の開催回数	17	★スポーツの推進	回/年 168	回/年 168	回/年 168		回/年 165	回/年 179	回/年 170 173	回/年 170	回/年 170	回/年 170	目標を達成している	A＋	継続実施	継続実施
47	13 4)②	成	生 生 生	市長杯・教育長杯への参加者数	17	★スポーツの推進	人/年 590	人/年 620	人/年 620		人/年 545	人/年 480	人/年 500 501	人/年 520	人/年 550	人/年 570	ほぼ目標に近づいているが種目によって増減がある	A＋	競技人口はいるので周知を徹底し、参加を促す	ホームページへの掲載や口コミでの勧誘を行う
48	13 4)③	成	生 生 生	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	17	★スポーツの推進	人/年 68	人/年 70	人/年 72		人/年 64	人/年 64	人/年 66 71	人/年 66	人/年 66	人/年 68	ほぼ目標に近づいている	A＋	各団体への講習会周知を行い、資格取得を促す	各団体への講習会周知を行い、資格取得を促す
49	13 4)④	成	福 福・生 福・生	ボランティア登録数	20	★地域ボランティア活動支援	人/年 100	人/年 110	人/年 120	登録者数推移過去5年間参考。香南市ボランティアセンターへの登録数	人/年 87	人/年 103	人/年 100 124	人/年 100	人/年 100	人/年 100	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行っての募集に取り組むように社会福祉協議会と連携を図っていく。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。
50	13 4)⑤	成	生 生 生	町民運動会参加団体数	19	★三世代交流イベント推進	団体/年 43	団体/年 48	団体/年 48		団体/年 37	団体/年 41	団体/年 41 40	団体/年 42	団体/年 42	団体/年 43	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う
51	13 4)⑥	成	生 生 生	市美術展への出品者数	18	★芸術・文化活動推進	人/年 230	人/年 230	人/年 230		人/年 207	人/年 225	人/年 230 204	人/年 230	人/年 230	人/年 230	ほぼ目標に近づいている	A	市内サークルへの働きかけを行う	市内サークルへの働きかけを行う
52	13 4)⑦	成	健 健 健	健康診査運動習慣（週2回）男性	14	★健康診査	% 36.0	% 38.0	% 40.0	高知県よさこい健康プラン２１	H25% 32.1	% 27.0	% 33 22.90	% 34	% 34	% 35	前年度より減少し目標値も下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動勧奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。
53	13 4)⑦	成	健 健 健	健康診査運動習慣（週2回）女性	14	★健康診査	% 33.0	% 35.0	% 37.0	高知県よさこい健康プラン２１	H25% 11.8	% 9.4	% 15 12.00	% 20	% 24	% 28	前年度より増加したが目標値を下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動勧奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。
54	14 5)①	成	人 人・福 人・福	ＤＶ相談窓口利用者数	25	★ＤＶ相談窓口	人/年 —	人/年 —	人/年 —		人/年 2	人/年 2	人/年 － 1	人/年 －	人/年 －	人/年 －	例年1～2回程度の相談で推移するものと思われる。	＊	継続支援	継続支援
55	14 5)②	成	福 福 福	ボランティア登録者数	20	★地域ボランティア活動支援	人/年 100	人/年 110	人/年 120	登録者数推移、過去5年間参考。香南市ボランティアセンターへの登録数	人/年 87	人/年 103	人/年 100 124	人/年 100	人/年 100	人/年 100	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行っての募集に取り組むように社会福祉協議会と連携を図っていく。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。
56	14 5)③	成	福 福 福	障害者虐待相談者数	8	★障害者支援	人/年 —	人/年 —	人/年 —		人/年 0	人/年 2	人/年 — 2	人/年 —	人/年 —	人/年 —	H27の実績値と同じで、概ね年1～2回程度の相談で推移するものと思われる。	＊	継続支援	継続支援

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ） 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策（改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ） H29年度の取り組み
57	15 6)①	成	地 地 地	移住促進ホームページのアクセス回数	2	★移住促進事業	回/年 6,000	回/年 6,000	回/年 6,000		回/年 0	回/年 0	回/年 300 3,582	回/年 4,000	回/年 5,000	回/年 6,000	H28年10月に市公式ＨＰ内に「移住」のカテゴリを新設し、年度末までのアクセス回がH32の目標を上回った。 また、平成29年3月31日には移住専門ＨＰ「香南住む～ず」を開設した。	A＋	平成29年度からは、移住ＨＰ「香南住む～ず」をポータルサイトとし、さらにアクセス数の増加を目指す。	サイト内容の充実を図るとともに、移住者目線に立ったわかりやすい情報発信を行う。
58	15 6)②	成	地 地 地	県外からの移住者数	2	★移住促進事業	組/年 20	組/年 30	組/年 50		組/年延べ 3	組/年延べ 1	組/年延べ 2 5	組/年延べ 5	組/年延べ 10	組/年延べ 20	平成28年9月から移住専門相移住相談員（臨時職員）を配置したことにより移住窓口が明確となった。H32年度の目標値に向け、順調である。	A＋	移住専門相談員のを継続して配置し、移住希望者の相談から移住後のフローまで、トータルで支援ができる体制を整備する。	高知県等が主催する県外移住相談会への参加をはじめ、高知･南国･香美･香南の広域連携し、移住ツアー等、県外移住者を呼び込むための事業を実施する。
59	15 6)③	成	地 地 地	空き家バンク登録数	2	★移住促進事業	棟/年 11	棟/年 15	棟/年 25		棟/年延べ 0	棟/年延べ 0	棟/年延べ 3 3	棟/年延べ 5	棟/年延べ 8	棟/年延べ 10	H28年11月から市内全域を対象とした「空き家バンク」を開始し、H32年度の目標値に向け、順調である。	A＋	移住者への住宅支援として、活用可能な空き家をバンク登録していただき、物件数の増加を目指す。	H29年度「空き家改修事業費等補助金」（空き家バンク登録物件対象）を創設。空き家バンクと登録メリットの周知に取り組む。
60	15 6)④	成	地 地 地	移住者向け支援住宅の整備件数（市管理）	2	★移住促進事業	棟/年 2	棟/年 2	棟/年 2		棟/年延べ 0	棟/年延べ 0	棟/年延べ 2 0	棟/年延べ 2	棟/年延べ 2	棟/年延べ 2	活用可能な空き家の選定に時間を要し、年度内の目標達成に至らなかった。	A－	移住希望者に対して、年度内の住宅供用を目指す。	お試し住宅整備のため、モデル地域の空き家の耐震補強及び改修工事を行う。
61	17 1)①	熟	健 健 健	特定健診受診率の向上	12～13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 60.0	%/年 60.0	%/年 60.0	健康増進計画	%/年 31.7	%/年 30.9	%/年 50 55 未確定	%/年 60	%/年 60	%/年 60	H27年度評価	A	セット健診や休日健診の実施。健康パスポートを活用した受診勧奨。	計画にそって実施中。
62	17 1)①	熟	健 健 健	胃がん検診受診率	12～13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	%/年 20.3	%/年 19.3	%/年 50 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A－	特定健診とのセット検診の実施。	計画にそって実施中。
63	17 1)①	熟	健 健 健	大腸がん検診受診率	12～13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	H25%/年 23.9	%/年 25.0	%/年 50 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A－	休日のセット検診の実施。	計画にそって実施中。
64	17 1)①	熟	健 健 健	乳がん検診受診率	12～13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	H25%/年 29.9	%/年 31.5	%/年 50 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A	子宮がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。
65	17 1)①	熟	健 健 健	子宮がん検診受診率	12～13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	H25%/年 33.8	%/年 32.8	%/年 50 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A	乳がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。
66	17 1)②	熟	健 健 健	脳卒中死亡率（ＳＭＲ）の減少	12	★特定健診・健康診査	数値 100以下	数値 100以下	数値 100以下	健康増進計画	数値 130.31	数値 89.81	数値 100以下 100以下 未確定	数値 100以下	数値 100以下	数値 100以下	H27年度評価	A	家庭血圧測定の推進。食生活改善推進員による減塩指導。	計画にそって実施中。

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ） 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策（改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ） H29年度の取り組み
67	17 1)③	熟	健 健 健	こころの体温計(メンタルヘルスチェックシステム)へのアクセス数	15	★こころの健康づくり	回/年 24,000	回/年 24,000	回/年 24,000	健康増進計画	回/6ヵ月 17,373	回/年 19,000 16,025	回/年 20,000 12,274	回/年 21,000	回/年 22,000	回/年 23,000	H26年度より開始したが、開始当初チェック数から徐々に減少傾向にあり、目標数を下回った。	A	機会ごとにPRを行う。	計画にそって実施中。
68	18 2)①	熟	福 福・生 福・生	ボランティア登録者数	5	★地域ボランティア活動支援	人/年 100	人/年 110	人/年 120	香南市ボランティアセンターへの登録数	人/年 87	人/年 100 103	人/年 100 124	人/年 100	人/年 100	人/年 100	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行っての募集に取り組むように社会福祉協議会と連携を図っていく。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。
69	18 2)②	熟	生 生 生	凧揚げ・地引網参加者数	6	★三世代交流イベント推進	人/年 1,200	人/年 1,200	人/年 1,200		人/年 1,177	人/年 1,132	人/年 1,150 1,073	人/年 1,200	人/年 1,200	人/年 1,200	ほぼ目標に近づいている	A	事業が天候に左右されるため、また、開催日、内容を検討することも必要。	学校行事等との兼ね合いを配慮し、引き続きＰＲをすすめる。
70	18 2)③	熟	生 生 生	町民運動会参加団体数	6	★三世代交流イベント推進	団体/年 43	団体/年 48	団体/年 48		団体/年 37	団体/年 41	団体/年 41 40	団体/年 42	団体/年 42	団体/年 43	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う
71	18 2)③	熟	健 健 健	特定健診運動習慣(週2回) 男性	12	★特定健診・健康診査	% 36.0	% 38.0	% 40.0	高知県よさこい健康プラン２１	% 32.4	% 31.8	% 33 35.3	% 33	% 34	% 35	前年度より増加し、目標値も上回った。	A＋	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動勧奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。
72	18 2)③	熟	健 健 健	特定健診運動習慣(週2回) 女性	12	★特定健診・健康診査	% 33.0	% 35.0	% 37.0	高知県よさこい健康プラン２１	% 26.7	% 26.5	% 28 25.8	% 29	% 30	% 31	前年度より若干減少し、目標値を下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動勧奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。
73	18 3)①	熟	人 人・福 人・福	ＤＶ相談窓口利用者数	17	★家庭内暴力・ＤＶ相談室	人/年 —	人/年 —	人/年 —		人/年 2	人/年 —	人/年 — 2	人/年 —	人/年 —	人/年 —	H27の実績値と同数。例年1～2回程度の相談で推移するものと思われる。 人０件、福２件	＊	継続支援	継続支援
74	18 3)②	熟	福 福 福	社会参加のための外出支援サービス利用者数	9	★香南市社会参画のための外出支援サービス	人/年 9	人/年 10	人/年 10	障害福祉計画見込み量参考	人/年 7	人/年 5	人/年 9 7	人/年 9	人/年 9	人/年 9	H32目標値を下回っているが、概ね目標値に近づいている。	A	利用者の要因によるものもあるが、利便性の向上を検討していく。	要綱改正で利用時間の拡充が図れたので、サービス利用について広報啓発に取り組んで行く。
75	18 3)③	熟	福 福 福	福祉医療費助成事業利用者数	11	★香南市福祉医療費助成事業(障害者)	人/年 —	人/年 —	人/年 —	障害福祉計画見込み量参考	人/年 786	人/年 791	人/年 — 794	人/年 —	人/年 —	人/年 —	H27の実績値の3人増の受給者数である。増減の推測は困難であるが、福祉医療助成者数は、若干の増加傾向にある。	＊	継続支援	継続支援
76	20 1)①	高	健 健 健	特定健診受診率の向上(65歳～74歳)	６～７	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 60.0	%/年 60.0	%/年 60.0	健康増進計画	%/年 44.5	%/年 47.8	%/年 50 未確定	%/年 55	%/年 60	%/年 60	H27年度評価	A	健康パスポートを活用した受診勧奨。	セット健診や休日健診の実施。
77	20 1)①	高	健 健 健	健康診査受診率(75歳以上)	６～７	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 30.0	%/年 30.0	%/年 30.0	健康増進計画	%/年 22.5	%/年 26.7	%/年 30 未確定	%/年 30	%/年 30	%/年 30	H27年度評価	A	後期高齢と連携し受診勧奨を実施する。	計画にそって実施中。

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ） 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策（改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ） H29年度の取り組み
78	20 1)①	高	健 健 健	胃がん検診受診率	６～７	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	%/年 20.3	%/年 50 19.3	%/年 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A	特定健診とのセット検診の実施。	計画にそって実施中。
79	20 1)①	高	健 健 健	大腸がん検診受診率	６～７	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	%/年 23.9	%/年 50 25.0	%/年 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A	休日のセット検診の実施。	計画にそって実施中。
80	20 1)①	高	健 健 健	乳がん検診受診率	６～７	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	%/年 29.9	%/年 50 31.5	%/年 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A	子宮がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。
81	20 1)①	高	健 健 健	子宮がん検診受診率	６～７	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 50.0	%/年 50.0	%/年 50.0	健康増進計画	%/年 33.8	%/年 50 32.8	%/年 50 未確定	%/年 50	%/年 50	%/年 50	H27年度評価	A	乳がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。
82	20 1)②	高	高 高 高	口腔機能向上教室および高齢者食生活改善栄養教室参加者数	23	★介護予防事業	人/年 250	人/年 250	人/年 250	毎年実施箇所を変更し継続実施している。	人/年 214	人/年 220 239	人/年 250 246	人/年 250	人/年 250	人/年 250	目標とする参加者数には達していない。	A	今後も指導者の養成を継続	食生活改善推進員研修の継続
83	20 1)③	高	生 生 生	パークゴルフ・ペタンク参加者数	14	★軽スポーツの推進	人/年 170	人/年 170	人/年 170		人/年 155	人/年 131	人/年 150 123	人/年 155	人/年 160	人/年 165	ほぼ目標に近づいている	A	愛好者への呼びかけを行う	愛好者への呼びかけを行う
84	20 1)④	高	健 健 健	特定健診運動習慣(週2回) 男性	6	★特定健診・健康診査(週2回30分以上の運動習慣)	% 58.0	% 60.0	% 62.0	高知県よさこい健康プラン２１	% 48.2	% 49 47.8	% 50 45.70	% 52	% 54	% 56	前年度より減少し、目標値も下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動勧奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。
85	20 1)④	高	健 健 健	特定健診運動習慣(週2回) 女性	6	★特定健診・健康診査(週2回30分以上の運動習慣)	% 48.0	% 50.0	% 52.0	高知県よさこい健康プラン２１	% 42.1	% 43 40.6	% 44 43.80	% 45	% 46	% 47	前年度より増加し、目標値に近づいた。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動勧奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。
86	21 2)①	高	生 生 生	凧揚げ・地引網参加者数	18	★三世代交流イベント推進	人/年 1,200	人/年 1,200	人/年 1,200		人/年 1,177	人/年 1,132	人/年 1,150 1,073	人/年 1,200	人/年 1,200	人/年 1,200	ほぼ目標に近づいている	A	事業が天候に左右されるため、また、開催日、内容を検討することも必要。	学校行事等との兼ね合いを配慮し、引き続きＰＲをすすめる。
87	21 2)②	高	生 生 生	町民運動会参加団体数	18	★三世代交流イベント推進	団体/年 43	団体/年 48	団体/年 48		団体/年 37	団体/年 41	団体/年 41 40	団体/年 42	団体/年 42	団体/年 43	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う
88	21 3)①	高	高 高 高	在宅介護手当・介護用品支給利用者数	1	★高齢者の生活支援	人/年 25	人/年 25	人/年 25		人/年 20	人/年 25	人/年 25 35	人/年 25	人/年 25	人/年 25	目標以上に達成できている。	A＋	今後も周知を図る	広報やケアマネージャーへの連絡会等で周知を図る
89	21 3)②	高	高 高 高	ボランティア参加者数（延）	22	★介護ボランティアポイント制度	人/年 880	人/年 1,120	人/年 1,360	年間48人増加の見込みH27見込み640人	人/年 0	人/年 620 628	人/年 645 711	人/年 670	人/年 695	人/年 720	活動者数は予定通り増加している。今後は適切なコーディネイトや新たなボランティアの発掘が課題。	A＋	コーディネート方法について委託先と検討。また、制度の啓発について	65歳到達者への介護保険証の配布時に、制度紹介のチラシを同封する。

【別冊２】平成29年度　人生支援計画　評価シート

	別冊２掲載頁	期別	担当課	指標（計画Ｐ） 指標の名称	事業NO	個別事業名	目標設定 H32	H37	H42	設定の根拠	目標KPI(計画Ｐ)…H27からH31の目標数値 実績KPI（実行Ｄ）H29 3月末実数を入力 H26	H27	H28	H29	H30	H31	進捗状況（評価Ｃ） H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	４段階評価（評価Ｃ） A+, A A−, B	対策（改善Ａ） 評価に対する対策と改善策を記入。	対策（計画Ｐ） H29年度の取り組み
90	22 4)①	高	高 高 高	認知症サポーター養成講座受講者数	10	★認知症に対するサポート	人/年 150	人/年 150	人/年 150	市内の小中学校やＰＴＡ、職域に拡大し継続	人/年 424	人/年 150 390	人/年 150 188	人/年 150	人/年 150	人/年 150	目標に向けて順調に進んでいる。	A＋	今後もサポーター養成事業を継続	小中学校へのサポーター養成講座の継続
91	22 4)②	高	高 高 高	認知症カフェ参加者数	10	★認知症に対するサポート	人/年 56	人/年 56	人/年 56	Ｈ42年度までに開催カ所を拡大して継続	人/年 0	人/年 50 47	人/年 50 76	人/年 50	人/年 50	人/年 50	目標以上に達成できている。	A＋	新たな参加者の拡大に向けて啓発活動を実施	ケアマネージャーや社会福祉協議会、民生委員協議会等の関係機関と連携し、事業の普及啓発を実施
92	22 5)①	高	福 福 福	ボランティア登録者数	21	★地域ボランティア活動支援	人/年 100	人/年 110	人/年 120	登録者数推移過去5年間参考。香南市ボランティアセンターへの登録数	人/年 87	人/年 100 103	人/年 100 124	人/年 100	人/年 100	人/年 100	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行っての募集に取り組むように社会福祉協議会と連携を図っていく。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。
93	22 5)②	高	高 高 高	いきいきクラブ事業参加者数（延）	12	★高齢者の自主活動支援	人/年 5,800	人/年 5,850	人/年 5,900	開催地区数と述べ参加者数	人/年 5,732	人/年 5,700 5,665	人/年 5,700 5,642	人/年 5,700	人/年 5,700	人/年 5,700	目標とする参加者数には達していない。	A	開催地区の運営支援の継続と新規地区への支援	運営支援の継続と新規地区立上げへの支援、地区代表者やボランティアを対象とした研修会の開催
94	22 5)③	高	高 高 高	シルバー人材センター登録者数	26	★定年後の再就職支援	人/年 274	人/年 304	人/年 334	現在の伸び率	人/年 244	人/年 255 255	人/年 255 263	人/年 259	人/年 264	人/年 269	目標に向けて順調に進んでいる。	A＋	シルバー人材センターの周知の支援や会員への研修	新規会員の確保に繋がるようシルバー人材センターの周知の支援を行う